



グローバル・オイル株式ファンド

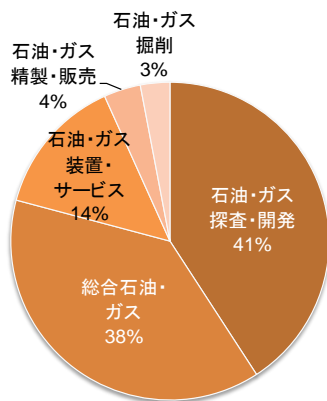
設定後のポートフォリオの状況

「グローバル・オイル株式ファンド」は、2016年6月8日に設定されました。設定以降、当ファンドは、主要投資対象である「グローバル・オイル株式マザーファンド」(以下、マザーファンド)を通じて、組み入れを進めてきました。その結果、マザーファンドにおける組入比率は、2016年6月21日現在で99.4%となっております。

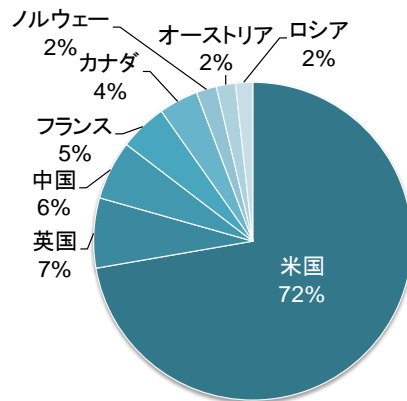
本資料では、ポートフォリオの状況とともに、当ファンドの実質的な運用を担当する日興アセットマネジメントアメリカズ・インクのファンド・マネージャーのコメントをご紹介します。

ポートフォリオの状況(2016年6月21日時点)

＜業種別株式組入比率＞



＜国別株式組入比率＞



＜組入上位10銘柄＞

順位	銘柄	国名	業種	比率
1	エクソンモービル	米国	総合石油・ガス	8.4%
2	ロイヤル・ダッチ／シェル	英国	総合石油・ガス	6.3%
3	シェブロン	米国	総合石油・ガス	6.0%
4	アナダルコ・ペトロリアム	米国	石油・ガス探査・開発	5.2%
5	コンチンタル・リソーシズ	米国	石油・ガス探査・開発	5.1%
6	オクシデンタル・ペトロリアム	米国	総合石油・ガス	5.0%
7	パイオニア・ナチュラル・リソーシズ	米国	石油・ガス探査・開発	4.9%
8	トタル	フランス	総合石油・ガス	4.8%
9	シュルンベルジェ	米国	石油・ガス装置・サービス	4.4%
10	ノーブル・エナジー	米国	石油・ガス探査・開発	4.2%

※マザーファンドの状況です。
※比率は組入株式時価総額比です。
※各比率は四捨五入により合計が100%とならない場合があります。
※業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

(組入銘柄数:26銘柄)

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用者のコメント ～原油価格の上昇期待とともに川上企業に注目～

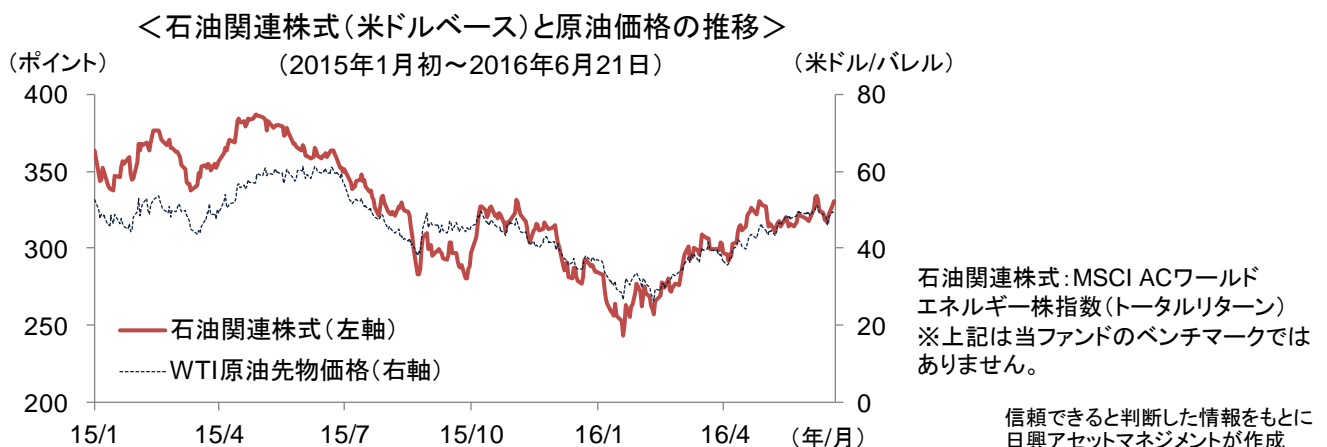
【原油価格は緩やかな上昇が期待される】

- 原油価格は、足元の1バレル＝50米ドル近辺(WTIベース)を今後も維持、ないしは緩やかに上昇することが期待されます。新興国経済の急減速に伴う需要面での大幅な変動がないことを前提にすると、来年は60米ドル超に達することも期待できると考えています。
- その理由として、原油市場の需給改善期待が挙げられます。IEA(国際エネルギー機関)の見通しによると、2016年に、非OPEC(石油輸出国機構)諸国の原油供給量は日量90万バレル程度の減少が見込まれる一方、需要は、中国やインドを中心に、世界で日量130万バレル程度の増加が見込まれています。
- 供給面では、米国の原油生産量が減少傾向となっています。2014年末以降、シェール企業が設備投資を大幅に削減しており、米国の原油掘削リグの稼働数もピーク時から大幅に減少しました。一方、需要面では、新興国における自動車保有台数の増加や、中間所得層の増加に伴う生活水準の向上が原油の需要増につながっています。また、中国では、これまでの原油価格の下落を背景に戦略備蓄を大きく積み増していることも原油需要の押し上げ要因となっています。

【「探査・開発」や「装置・サービス」などの川上企業に注目】

- 当ファンドでは、原油価格の上昇が続くことを前提に、川上ビジネスに関連するセクター、「探査・開発」や「装置・サービス」について注目しています。この2つのセクターは、原油価格の動きに対して感応度が高いのが特徴と言えます。つまり、原油価格が上昇すれば、その恩恵を最も大きく受けると期待されます。
- 「探査・開発」では、米国内で最も生産コストが低いとされるパーミアン油田を中心に生産活動を行なっている企業が特に魅力的であると考えています。
- 「装置・サービス」の企業は、直近の原油価格が上昇した場面で、同じ川上ビジネスの「探査・開発」に比べると、株価の上昇が小幅に留まる傾向がみられました。背景には、設備投資の削減による収入減や、これまでの原油価格の下落に伴うサービス価格の低下があります。ただし、こうしたなかでも、装置・サービス業界における大手企業は、市場シェアの維持に努めたり、競合他社を買収することでサービスの幅を広げるなどして、ビジネスを強化しています。今後、原油価格の安定化、あるいは上昇の継続によって、シェール企業などの生産活動が回復し始めた場合、最も利益を享受するのは装置・サービス業であると考えています。

上記は、「グローバル・オイル株式ファンド」のマザーファンドの投資顧問会社である日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからのコメントをもとに作成しています。



※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 世界の石油関連企業の株式を主な投資対象とします。
- 2 20~30銘柄程度に厳選投資します。
- 3 地政学リスク分析を専門とするユーラシア・グループからの情報・分析を活用します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

【有価証券の貸付などにおけるリスク】【業種の集中に関するリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お 申 込 メ モ

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2026年5月12日まで(2016年6月8日設定)
決算日	毎年5月12日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手 数 料 等 の 概 要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入時手数料率は、 <u>3.24%(税抜3%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

信託報酬	純資産総額に対して年率 <u>1.7928%(税抜1.66%)</u> を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 <u>0.1%</u> を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ] http://www.nikkoam.com/ [コールセンター] 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)